

リストNo	07-001	施設コード	02327	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	浜松こども館			
所在(町名・番地)	中区鍛冶町100-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	こども家庭部次世代育成課	課長名 園田 俊士	
	施設	こども家庭部次世代育成課	課長名 園田 俊士	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松こども館条例			
設置目的	児童に健全な遊びと創造的な体験及び交流の場を提供し、もって次代を担う児童の健全な育成と子育ての支援を図る。(浜松こども館条例第1条)			
主な利用者	乳幼児・児童とその保護者など			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	遠鉄アシスト(株)			
開館時間	10:00 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	3,829.76	土地面積 640.55	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	15		うち所有面積 640.55
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2001/11/19		
	経過年数(主要建物)	21		
用途地域	商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	1,025,238	2,248,000	3,273,238	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	1,025,238	2,248,000	3,273,238
特記事項	—			



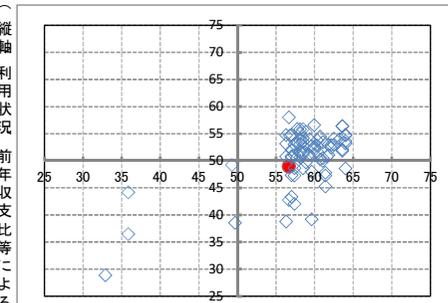
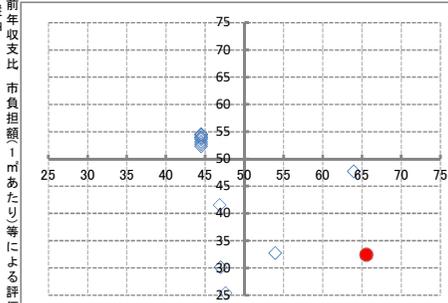
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	22,524	15,645	6,294
	国県支出金	9,266	8,959	9,797
	その他収入	3,143	3,130	1,845
	収入計(A)	34,933	27,734	17,936
	支出(千円)	人件費	63,491	61,449
	物件費(委託料)	13,476	12,898	10,818
	維持補修費(修繕費)	3,975	1,498	0
	物件費(光熱水費)	27,486	26,339	25,006
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	108,428	102,184	89,882
	行政コスト(B-A)	73,495	74,450	71,946
	収支前年比	98.72	103.48	98.02
	(参考)指定管理料	101,314	101,321	101,327
	(参考)減価償却費	32,141	32,141	32,141
利用状況	利用コマ数/年	5,705	4,618	3,278
	利用可能コマ数/年	25,390	24,881	19,512
	施設利用者数/年	194,946	139,146	42,692
	開館日数/年	351	298	206
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	240,272	932,099	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度浜松こども館遊具等更新事業	161,600			
2019	令和元年度浜松こども館遊具等改修工事	69,300			
2016	浜松こども館分室移動間仕切り改修工事	4,938			
2014	改修工事	22,778			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-013	こだま放課後児童会	生活	0.6
07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.1
07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.2
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.3
07-007	江西児童館	生活	1.7
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.9
07-004	かものこ放課後児童会	生活	2.0
07-008	さとう放課後児童会	生活	2.0
01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.0
19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.1
23-129	新川モール	地域	0.3
22-004	夜間救急室	市域	0.3
01-010	海老塚事務所	地域	0.4
04-014	浜松復興記念館	地域	0.4
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.4
19-003	駅南地下駐車場	地域	0.5



基本情報	リストNo	07-001	施設コード	02327	所管課	本庁	こども家庭部次世代育成課
	施設名	浜松こども館			施設	こども家庭部次世代育成課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	妊娠・出産を応援するための環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		児童に健全な遊びと創造的な体験及び交流の場を提供し、もって次代を担う児童の健全な育成と子育ての支援を図る。(浜松こども館条例第1条)					
		主な業務内容	遊び体験・もの作り体験・展示体験・子育て支援機能の提供、託児、施設貸出業務など				
		主な利用者	乳幼児・児童とその保護者など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		毎年20万人前後の利用者があり、社会ニーズは減少していない。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子化が進んでおり、ニーズは今後変化していく可能性がある。				
	特記事項		中心市街地の活性化も担う施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		主催事業 ※年度により内容は異なる	2022	—	—	11,846	
			2021	—	—	10,107	
			2020	—	—	6,074	
事業②		託児事業	2022	—	—	564	
			2021	—	—	327	
			2020	—	—	225	
事業③		浜松こども館分室 施設貸出業務	2022	—	—	21,370	
			2021	—	—	24,229	
			2020	—	—	8,747	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設や一部遊具の劣化。					
	対応策	日常点検等を通じ、施設や遊具の劣化を把握するとともに、計画的な修繕等により事故防止に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	平成18年度から指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	19,190	19,440	18,786	1人当たりのコスト(円)	377	535	1,685
	施設利用率(%)	22.5	18.6	16.8	1開館日当たりのコスト(円)	209,387	249,832	349,252
	1日当たり利用者(人)	555	467	207	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
民間との複合施設であり、当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	07-003	施設コード	00047	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	かみじま放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区上島一丁目21-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:00			
建物情報	総延床面積	68.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2002/11/29		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	80	0	0
	物件費(光熱水費)	102	63	112
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	182	63	112	
行政コスト(B-A)		182	63	112
収支前年比		288.89	56.25	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		234	234	234
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	5,959	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-014	こうま放課後児童会	生活	1.0
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.8
07-077	たかだい放課後児童会	生活	1.9
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.9
15-017	上島小学校	生活	0.0
11-010	家内労働福祉センター	地域	0.1
14-035	浜松第9分団	コミュニティ	0.4
15-101	曳馬中学校	生活	0.7
26-008	上島雨水ポンプ場	—	0.8
03-069	金屋会館	コミュニティ	0.8
16-002	青少年の家	市域	1.0
15-103	高台中学校	生活	1.0



基本情報	リストNo	07-003	施設コード	00047	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	かみじま放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(かみじま第1放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,676	926	1,647	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,550	1,575	2,800	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(上島小学校)。									

リストNo	07-004	施設コード	00050	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	かものこ放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区西伊場町4-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	81.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2000/9/1		
	経過年数(主要建物)	22		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



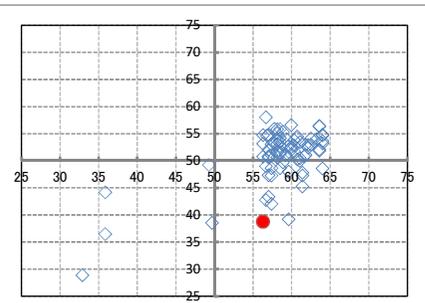
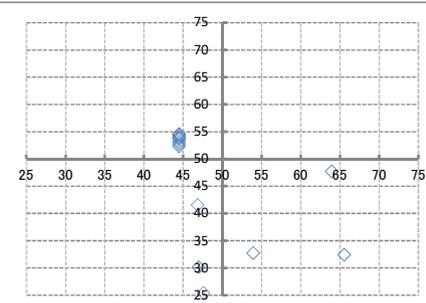
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	14	66	23
	維持補修費(修繕費)	891	66	0
	物件費(光熱水費)	150	136	133
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	1,055	268	156
行政コスト(B-A)		1,055	268	156
収支前年比		393.66	171.79	41.05
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		516	516	516
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	2,226	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-009	さなる放課後児童会	生活	1.1
07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.3
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.3
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.5
07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.8
07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	1.9
07-001	浜松こども館	市域	2.0
15-014	鴨江小学校	生活	0.0
11-001	子どものこころの診療所	市域	0.4
18-066	旧保健所	地域	0.4
24-003	鴨江雨水調整池	—	0.4
09-002	口腔保健医療センター	市域	0.4
09-001	保健所	市域	0.4
15-104	西部中学校	生活	0.6
08-002	鴨江保育園	生活	0.6



基本情報	リストNo	07-004	施設コード	00050	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	かものこ放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(かものこ放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	13,025	3,309	1,926	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	26,375	6,700	3,900	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>				<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(鴨江小学校)									

リストNo	07-005	施設コード	04969	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	葵西放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区葵西二丁目25-2			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	239.10	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2005/4/1		
	経過年数(主要建物)	18		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



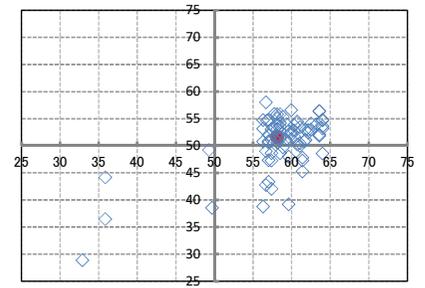
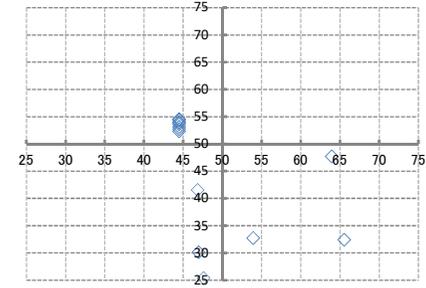
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	103
	維持補修費(修繕費)	225	0	65
	物件費(光熱水費)	293	297	257
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	539	328	425	
行政コスト(B-A)		539	328	425
収支前年比		164.33	77.18	127.25
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,164	1,164	1,164
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	19,008	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	0.8
07-072	みかた放課後児童会	生活	1.1
07-017	みずほ放課後児童会	生活	1.1
07-049	はつおい放課後児童会	生活	1.6
同分類			
15-012	葵西小学校	生活	0.0
13-003	葵西二丁目団地	地域	0.2
03-068	葵西会館	コミュニティ	0.2
15-133	北星中学校	生活	0.5
13-004	高丘団地	地域	0.7
03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.7
13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.7
08-050	三方原幼稚園	生活	0.7
その他の分類			



基本情報	リストNo	07-005	施設コード	04969	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	葵西放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(葵西放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—		
2020	—	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,254	1,372	1,777	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,738	4,100	5,313	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>				<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(葵西小学校)									

リストNo	07-006	施設コード	04970
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	広沢子育て支援ひろば		
所在(町名・番地)	中区広沢三丁目11-9		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課	課長名 小山 東男
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	遊び場の提供、育児相談、子育て情報の提供、親子の交流を目的とする。		
主な利用者	0歳から3歳までの乳幼児とその保護者、小学校6年生までの児童		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 17:00		
建物情報	総延床面積	102.12	土地面積 594.97
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2005/4/1	
	経過年数(主要建物)	18	
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



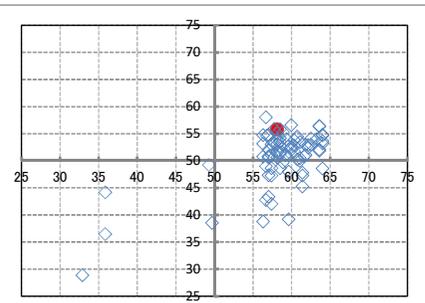
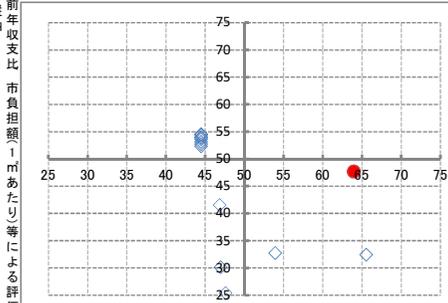
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	34	23	10
	維持補修費(修繕費)	248	0	388
	物件費(光熱水費)	252	199	209
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	534	222	607
行政コスト(B-A)		534	222	607
収支前年比		240.54	36.57	279.72
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		437	437	437
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	11,033	10,303	9,999
	開館日数/年	288	290	293
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	48,527	7,133	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.5
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.7
07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.3
07-001	浜松こども館	市域	1.3
07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.5
07-013	こだま放課後児童会	生活	1.9
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.9
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.4
03-025	西部協働センター	生活	0.4
15-146	市立高等学校	市域	0.4
04-009	美術館	市域	0.5
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.6
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.6
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.6
13-018	蛸塚団地	地域	0.7



基本情報	リストNo	07-006	施設コード	04970	所管課	本庁	子ども家庭部子育て支援課
	施設名	広沢子育て支援ひろば			施設	施設	中区・社会福祉課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境作り、子どもとその家族に対する相談援助					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		遊び場の提供、育児相談、子育て情報の提供、親子の交流を目的とする。					
		主な業務内容	施設内のおもちゃを使って遊ぶ自由来館施設				
		主な利用者	0歳から3歳までの乳幼児とその保護者、小学校6年生までの児童				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者はある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子化に伴う対象者数の減少				
	特記事項		(特非)浜松子育てネットワークびびへの委託				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	子育て支援(288回)	2022	—	—	11,033	
			2021	—	—	10,303	
			2020	—	—	9,999	
			2019	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	
2021			—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の経年劣化とその対応。施設需要に対する駐車場の不足。					
	対応策	日常点検等を通じ劣化度の把握に努め、必要な修繕を実施していく。敷地の有効利用の検討による駐車台数の増。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	5,229	2,174	5,944	1人当たりのコスト(円)	48	22	61
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	1,854	766	2,072
	1日当たり利用者(人)	38	36	34	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性					<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		
		公共施設等総合管理計画より抜粋	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>					
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。								

リストNo	07-007	施設コード	00772		
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設				
施設名	江西児童館				
所在(町名・番地)	中区春日町41-1				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課	課長名 小山 東男		
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文		
設置根拠(法)	児童福祉法				
条例	浜松市児童館条例				
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。				
主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 17:00				
建物情報	総延床面積	217.49	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	642.87
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積	642.87
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—		代表地目(現況地目)	官公庁用地
	建築年月日(主要建物)	1982/4/1			
	経過年数(主要建物)	41			
用途地域	第一種住居地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	—				



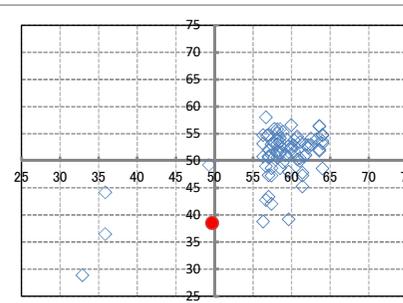
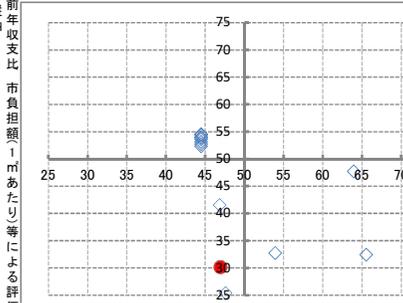
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	10,000	10,000	10,000
	物件費(委託料)	204	147	176
	維持補修費(修繕費)	132	52	0
	物件費(光熱水費)	602	514	459
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	10,938	10,713	10,635	
行政コスト(B-A)		10,938	10,713	10,635
収支前年比		102.10	100.73	99.23
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		871	871	871
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	2,784	1,959	1,347
	開館日数/年	293	293	265
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	35,547	4,751	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.0	
07-013	こだま放課後児童会	生活	1.3	
07-001	浜松こども館	市域	1.7	
同分類				
その他の分類	03-080	江西会館	コミュニティ	0.0
	13-020	春日団地改良住宅	地域	0.1
	15-098	江西中学校	生活	0.2
	15-021	浅間小学校	生活	0.3
	08-004	江西保育園	生活	0.4
	14-038	浜松第12分団	コミュニティ	0.5
	14-003	南消防署	地域	0.6
	14-004	消防車両整備工場	地域	0.6



基本情報	リストNo	07-007	施設コード	00772	所管課	本庁	子ども家庭部子育て支援課	
	施設名	江西児童館		施設	中区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	2	
複合施設		江西会館						
関連政策名 子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもとその家庭に対する相談援助								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。							
	主な業務内容	児童館の遊具をつかって遊ぶ自由来館施設						
	主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者がある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			少子化に伴う対象者数の減少				
	特記事項			—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	けん玉教室・卓球教室・マジックショー・乳幼児教室・絵手紙教室・輪車教室・大道芸	2022	56	のべ募集人員	100	参加者数
2021				28	40	40	—	
2020				—	—	—	—	
事業②		児童館の遊具や隣接する春日児童遊園を利用して季節や天候に合わせた遊びの提供を行う。(事業①利用者を含む)	2022	—	—	2,784	—	
			2021	—	—	1,959	—	
			2020	—	—	1,347	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	併設の江西会館(昭和38年開設・昭和57年改築)とともに施設の老朽化とその対応。駐車場の不足。						
	対応策	日常点検を通じ老朽化度の把握に努め、必要な修繕をしていく。敷地の有効利用の検討による駐車台数の増。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	○	他の施設との統廃合を将来的に検討していく。		
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	50,292	49,257	48,899	1人当たりのコスト(円)	3,929	5,469	7,895	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	37,331	36,563	40,132	
	1日当たり利用者(人)	10	7	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
		<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	公共施設等総合管理計画より抜粋	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との複合化も検討する。									

リストNo	07-008	施設コード	00895	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	さとう放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区佐藤二丁目32-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:00			
建物情報	総延床面積	72.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2006/9/1		
	経過年数(主要建物)	16		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



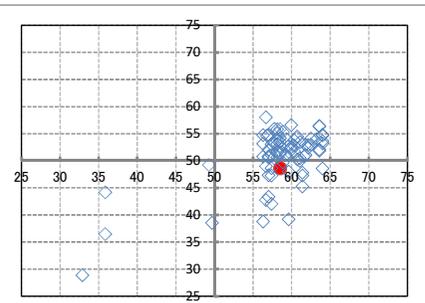
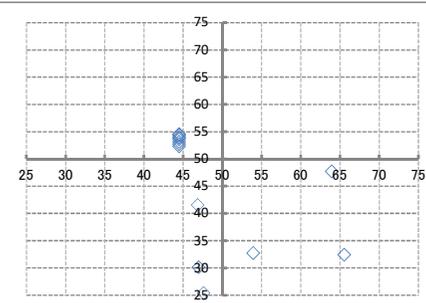
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	58	0	0
	物件費(光熱水費)	80	53	112
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	138	53	112
	行政コスト(B-A)	138	53	112
	収支前年比	260.38	47.32	100.00
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	293	293	293
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	43	43	43
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,633	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.0
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.7
07-027	ポブラの子放課後児童会	生活	0.9
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.6
07-014	こうま放課後児童会	生活	1.6
07-001	浜松こども館	市域	2.0
15-003	佐藤小学校	生活	0.0
26-003	北ポンプ場	—	0.3
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.3
03-003	勤労青少年ホーム	市域	0.5
15-005	船越小学校	生活	0.5
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.6
24-002	茄子揚水機場	—	0.7
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.8



基本情報	リストNo	07-008	施設コード	00895	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	さとう放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(さとう放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	—	—	—	—	—			
事業③	—	—	—	—	—	—			
事業④	—	—	—	—	—	—			
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,917	736	1,556	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,209	1,233	2,605	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(佐藤小学校)									

リストNo	07-009	施設コード	04971	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	さなる放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区佐鳴台三丁目31-3			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	275.40	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2007/3/26		
	経過年数(主要建物)	16		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



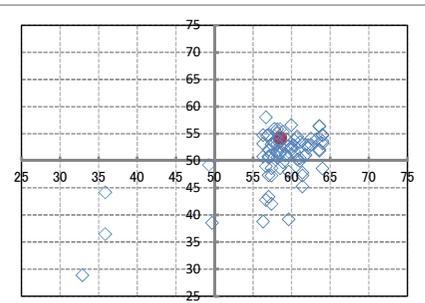
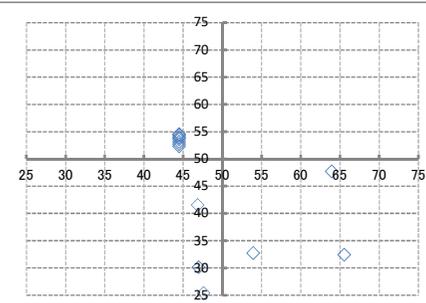
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	31	50
	維持補修費(修繕費)	18	54	119
	物件費(光熱水費)	290	232	199
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	329	317	368
行政コスト(B-A)	329	317	368	
収支前年比	103.79	86.14	70.36	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,587	1,587	1,587	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	27,512	—	

年度	内容	金額(千円)	
		年度	内容
2006	放課後児童会整備工事(建築工事)	46,489	
2006	放課後児童会整備工事(機械設備工事)	12,390	

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.1
07-033	めだか放課後児童会	生活	1.3
07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活	1.8
07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	1.8
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.9
08-005	佐鳴台保育園	生活	0.1
15-016	佐鳴台小学校	生活	0.1
15-099	佐鳴台中学校	生活	0.1
03-026	佐鳴台協働センター	生活	0.3
26-007	御前谷ポンプ場	—	0.5
16-001	看護専門学校	市域	0.9
04-010	博物館	市域	0.9
04-034	蛭塚遺跡	文化財	0.9



基本情報	リストNo	07-009	施設コード	04971	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	さなる放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(さなる放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	—	—	—	—	—			
事業③	—	—	—	—	—	—			
事業④	—	—	—	—	—	—			
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人へに委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,195	1,151	1,336	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,113	3,963	4,600	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(佐鳴台小学校)									

リストNo	07-010	施設コード	01408	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	城北第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区住吉一丁目23-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	90.44	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2002/1/7		
	経過年数(主要建物)	21		
用途地域	第二種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



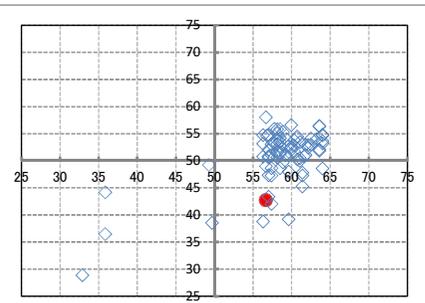
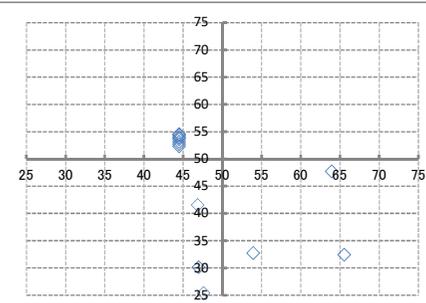
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	7	10	17
	維持補修費(修繕費)	195	0	0
	物件費(光熱水費)	213	94	288
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	415	104	305
行政コスト(B-A)		415	104	305
収支前年比		399.04	34.10	102.01
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		284	284	284
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	48	48	48
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	6,106	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-077	たかだい放課後児童会	生活	1.1
07-014	こうま放課後児童会	生活	1.4
07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.6
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	1.7
07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.8
07-068	とみつか放課後児童会	生活	1.9
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.9
15-018	城北小学校	生活	0.0
01-007	計量検査所	市域	0.3
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.4
03-021	和地山公園集会所	生活	0.4
06-002	城北図書館	市域	0.4
13-008	住吉一丁目団地	地域	0.5
21-001	浜松斎場	地域	0.5
25-001	住吉庁舎	—	0.7



基本情報	リストNo	07-010	施設コード	01408	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	城北第2放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(城北第2放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	4,589	1,150	3,372	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,646	2,167	6,354
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性							
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(城北小学校)								

リストNo	07-011	施設コード	01710	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	若竹第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区向宿三丁目8-18			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:30			
建物情報	総延床面積	202.20	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2007/3/26		
	経過年数(主要建物)	16		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



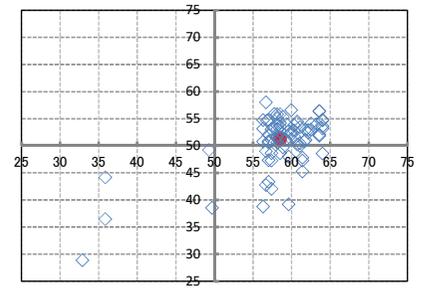
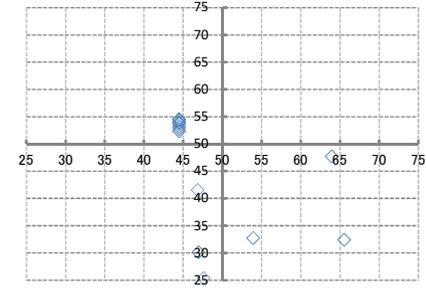
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	42	31	35
	維持補修費(修繕費)	255	94	286
	物件費(光熱水費)	621	524	496
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	918	649	817
	行政コスト(B-A)	918	649	817
	収支前年比	141.45	79.44	103.55
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	1,283	1,283	1,283
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	85	80	105
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	22,235	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2006	放課後児童会整備工事(建築工事)	32,313			
2006	放課後児童会整備工事(機械設備工事)	9,608			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-046	芳北小放課後児童会	生活	0.7
07-076	さなえ放課後児童会	生活	1.5
07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	1.5
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	1.6
07-008	さとう放課後児童会	生活	1.6
07-027	ポプラの子放課後児童会	生活	1.8
07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.9
15-022	相生小学校	生活	0.1
15-056	芳川北小学校	生活	0.7
03-022	東部協働センター	生活	0.8
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.9
03-077	江東会館	コミュニティ	0.9
26-006	東雨水ポンプ場	—	0.9
01-011	南土木整備事務所	地域	1.0
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	1.1



基本情報	リストNo	07-011	施設コード	01710	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	若竹第2放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(若竹放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業②	放課後児童健全育成事業(若竹第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人へに委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	4,540	3,210	4,041	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	10,800	8,113	7,781	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(相生小学校)									

リストNo	07-012	施設コード	02628
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	北星児童館		
所在(町名・番地)	中区花川町1977番地		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課	課長名 小山 東男
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	浜松市児童館条例		
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 17:00		
建物情報	総延床面積	199.01	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.54	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1979/4/1	
	経過年数(主要建物)	44	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



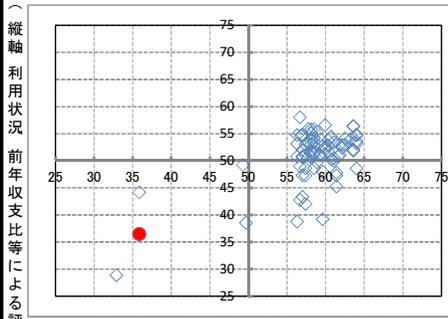
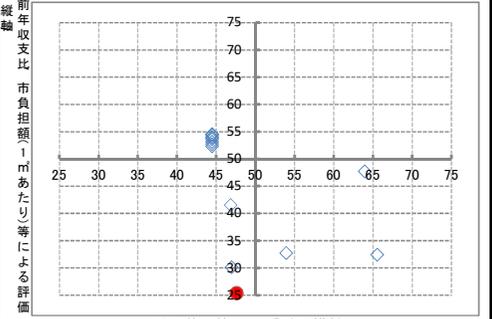
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	10,800	10,800	10,800
	物件費(委託料)	204	176	222
	維持補修費(修繕費)	327	409	0
	物件費(光熱水費)	608	547	534
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	11,939	11,932	11,556	
行政コスト(B-A)		11,939	11,932	11,556
収支前年比		100.06	103.25	98.46
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		758	758	758
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,254	2,944	2,852
	開館日数/年	293	293	265
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,861	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-017	みずほ放課後児童会	生活	1.5
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	2.0
同分類			
その他の分類			
03-079	北星会館	コミュニティ	0.0
15-001	花川小学校	生活	0.1
08-024	花川幼稚園	生活	0.2
14-040	浜松第28分団	コミュニティ	0.2
13-019	花川団地改良住宅	地域	0.3
05-005	花川運動公園庭球場	市域	0.6
08-001	花川保育園	生活	1.3
05-008	北部水泳場	地域	1.5



基本情報	リストNo	07-012	施設コード	02628	所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課	
	施設名	北星児童館		施設	中区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	3	
施設運営分析	複合施設	北星会館						
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもとその家庭に対する相談援助						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。						
		主な業務内容	児童館の遊具をつかって遊ぶ自由来館施設					
		主な利用者	0歳児から18歳未満の乳幼児・児童および付き添いの保護者					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者がある					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子化に伴う対象者数の減少					
	特記事項		—					
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	絵手紙教室・七夕会・ドライフラワー教室・紙工作教室・観劇・食育教室	2022	14	のべ募集人員	36	参加者数	36
			2021	7	—	11	—	11
			2020	—	—	—	—	—
	事業②	児童館の遊具や北星会館・児童館敷地内の遊具を利用して季節や天候に合わせた遊びの提供を行う。(事業①利用者を含む)	2022	—	—	—	3,254	
			2021	—	—	—	2,944	
			2020	—	—	—	2,852	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	併設の北星会館(昭和39年開設・昭和54年改築)とともに施設の老朽化とその対応。						
	対応策	日常点検等を通じ老朽化度の把握に努め、必要な修繕を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	○	他の施設との統廃合を将来的に検討していく。				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	59,992	59,957	58,067	1人当たりのコスト(円)	3,669	4,053	4,052
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	40,747	40,724	43,608
	1日当たり利用者(人)	11	10	11	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設との複合化も検討する。								

リストNo	07-013	施設コード	04170	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	こだま放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区海老塚二丁目5-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	81.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2010/2/22		
	経過年数(主要建物)	13		
用途地域	商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	58	0	8
	物件費(光熱水費)	88	52	112
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	146	52	120
	行政コスト(B-A)	146	52	120
	収支前年比	280.77	43.33	107.14
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	131	131	131
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	32	32	32
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	4,242	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-001	浜松こども館	市域	0.6
07-070	あがたい放課後児童会	生活	1.0
07-007	江西児童館	生活	1.3
07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.8
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	1.9
15-007	双葉小学校	生活	0.0
01-010	海老塚事務所	地域	0.3
03-004	福祉交流センター	市域	0.4
03-029	南部協働センター	生活	0.4
06-004	南図書館	地域	0.4
19-003	駅南地下駐車場	地域	0.5
26-005	南ポンプ場	—	0.5
08-008	南保育園	生活	0.6



基本情報	リストNo	07-013	施設コード	04170	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	こだま放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(こだま放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,802	642	1,481	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,563	1,625	3,750	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>			<p>利用状況等による評価(横軸)</p>				
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(双葉小学校)									

施設カルテ 2023

リストNo	07-014	施設コード	04298	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	こうま放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区曳馬一丁目1-35			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	215.28	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2010/11/30		
	経過年数(主要建物)	12		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	114	31	27
	維持補修費(修繕費)	2,490	11	0
	物件費(光熱水費)	706	332	487
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	3,310	374	514
行政コスト(B-A)		3,310	374	514
収支前年比		885.03	72.76	59.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,176	1,176	1,176
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	25,080	—	

年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)
2010	施設整備工事(建築工事)	30,975		
2010	施設整備工事(機械設備工事)	7,903		

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.0
07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.0
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.4
07-008	さとう放課後児童会	生活	1.6
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	1.6
07-073	中部学園放課後児童会	生活	2.0
15-013	曳馬小学校	生活	0.0
14-037	浜松第11分団	コミュニティ	0.3
03-069	金屋会館	コミュニティ	0.3
15-101	曳馬中学校	生活	0.4
03-030	曳馬協働センター	生活	0.5
16-002	青少年の家	市域	0.8
14-035	浜松第9分団	コミュニティ	0.9
15-106	八幡中学校	生活	0.9



基本情報	リストNo	07-014	施設コード	04298	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	こうま放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもたちが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(こうま放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
事業②	放課後児童健全育成事業(こうま第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	15,375	1,737	2,388	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	41,375	4,675	6,425	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>				<p>個別方針</p> <p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(曳馬小学校)</p>		
1資産の見直し	複合化		—	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		

リストNo	07-015	施設コード	04398				
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設						
施設名	ひろさわ放課後児童会						
所在(町名・番地)	中区広沢二丁目51-1						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎				
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文				
設置根拠(法)	児童福祉法						
条例	—						
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	13:00～18:30						
建物情報	総延床面積	245.44	土地面積	0.00			
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造			土地面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	2					うち所有面積
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2012/2/3					
	経過年数(主要建物)	11			代表地目(現況地目)		
用途地域	第一種中高層住居専用地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



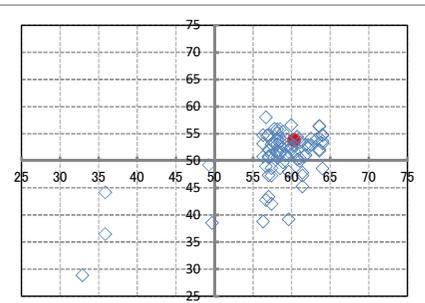
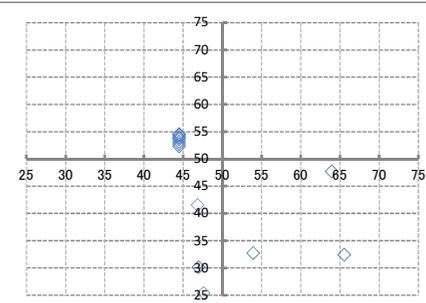
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	42	31	91
	維持補修費(修繕費)	66	154	537
	物件費(光熱水費)	458	385	342
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	566	570	970
行政コスト(B-A)		566	570	970
収支前年比		99.30	58.76	252.60
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,731	1,731	1,731
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	26,506	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2011	施設整備工事(建築工事)	44,303			
2011	施設整備工事(機械設備工事)	8,150				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.7
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.9
07-068	とみつか放課後児童会	生活	1.4
07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.5
07-010	城北第2放課後児童会	生活	1.7
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	1.8
07-009	さなる放課後児童会	生活	1.9
15-015	広沢小学校	生活	0.0
03-025	西部協働センター	生活	0.3
15-146	市立高等学校	市域	0.3
15-109	蛸塚中学校	生活	0.5
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.6
14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.6
08-007	西保育園	生活	0.6
13-018	蛸塚団地	地域	0.6



基本情報	リストNo	07-015	施設コード	04398	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	ひろさわ放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(ひろさわ放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
事業②	放課後児童健全育成事業(ひろさわ第2放課後児童会)	2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
事業③	—	2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,306	2,322	3,952	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,660	5,700	9,700	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(広沢小学校)									

リストNo	07-016	施設コード	04399	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	ふなこし放課後児童会			
所在(町名・番地)	中区船越町31-24			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	—			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ~ 18:30			
建物情報	総延床面積	129.24	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2011/12/16		
	経過年数(主要建物)	11		
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



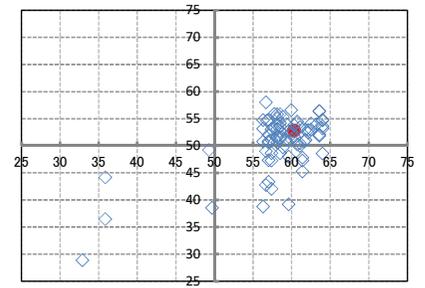
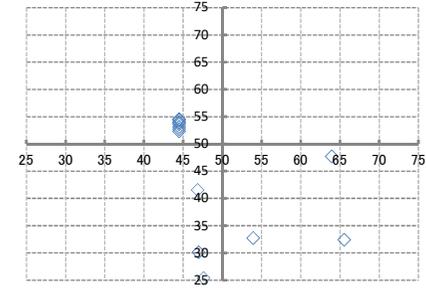
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	21	31	27
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	316	243	213
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	337	274	240
行政コスト(B-A)		337	274	240
収支前年比		122.99	114.17	29.93
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		890	890	890
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	44	44	44
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	13,639	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2011	施設整備工事	25,807			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.7
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.7
07-014	こうま放課後児童会	生活	1.0
07-027	ポプラの子放課後児童会	生活	1.4
07-073	中部学園放課後児童会	生活	1.9
07-003	かみじま放課後児童会	生活	1.9
07-001	浜松こども館	市域	1.9
15-005	船越小学校	生活	0.1
15-106	八幡中学校	生活	0.1
14-039	浜松第15分団	コミュニティ	0.3
26-003	北ポンプ場	—	0.4
24-002	茄子揚水機場	—	0.5
03-003	勤労青少年ホーム	市域	0.5
15-003	佐藤小学校	生活	0.7
14-037	浜松第11分団	コミュニティ	0.7



基本情報	リストNo	07-016	施設コード	04399	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	ふなこし放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童会健全育成事業(ふなこし放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
2020	—	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,608	2,120	1,857	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,659	6,227	5,455	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(船越小学校近接の八幡中学校内)									

リストNo	07-017	施設コード	04965
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	みずほ放課後児童会		
所在(町名・番地)	中区高丘北三丁目15-8		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00～18:30		
建物情報	総延床面積	242.98	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2015/3/10	
	経過年数(主要建物)	8	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	27
	維持補修費(修繕費)	706	44	281
	物件費(光熱水費)	485	445	728
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,233	520	1,036	
行政コスト(B-A)		1,233	520	1,036
収支前年比		237.12	50.19	138.50
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,600	1,600	1,600
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	110	110	110
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	29,306	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	施設整備工事(建築工事)	40,518			
2014	施設整備工事(機械設備工事)	9,504			

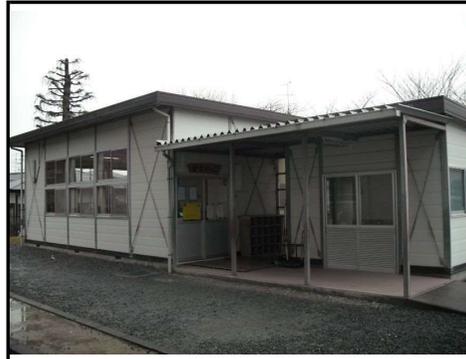
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-005	葵西放課後児童会	生活	1.1
07-012	北星児童館	生活	1.5
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	1.6
07-072	みかた放課後児童会	生活	1.9
15-019	瑞穂小学校	生活	0.0
13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.5
13-004	高丘団地	地域	0.5
03-071	瑞穂会館	コミュニティ	0.6
03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.6
01-029	高丘葵市民サービスセンター	生活	0.6
05-008	北部水泳場	地域	0.7
15-102	開成中学校	生活	1.0



基本情報	リストNo	07-017	施設コード	04965	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	みずほ放課後児童会			所管課	施設	中区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年生までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(みずほ放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
事業②	放課後児童健全育成事業(みずほ第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	5,074	2,140	4,264	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	11,209	4,727	9,418	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(瑞穂小学校)									

リストNo	07-018	施設コード	00044	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	かさいっこ放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区笠井町1050			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:00			
建物情報	総延床面積	96.61	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2000/9/1		
	経過年数(主要建物)	22		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



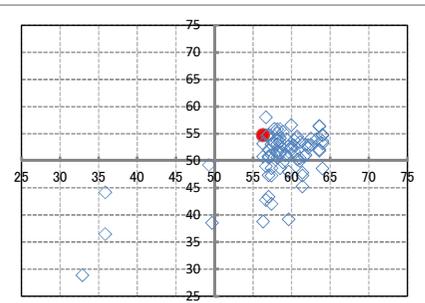
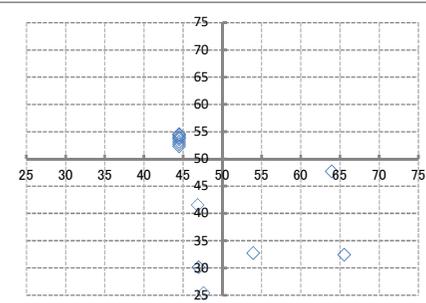
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	14	21	23
	維持補修費(修繕費)	13	31	0
	物件費(光熱水費)	115	117	109
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	142	169	132	
行政コスト(B-A)		142	169	132
収支前年比		84.02	128.03	32.04
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		481	481	481
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	46	46	46
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	2,115	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-019	かさいっこ第2放課後児童会	生活	0.0
07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	1.0
07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	1.5
07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.9
同分類			
15-027	笠井小学校	生活	0.0
08-025	笠井幼稚園	生活	0.0
14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.1
15-110	笠井中学校	生活	0.2
03-034	笠井協働センター	生活	0.3
08-010	笠井保育園	生活	0.6
15-033	豊西小学校	生活	0.9
08-027	豊西幼稚園	生活	1.0
その他の分類			



基本情報	リストNo	07-018	施設コード	00044	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	かさいっこ放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(かさいっこ放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	大雨が降り、風向き次第で窓枠から雨水が入ってくることもある。							
	対応策	継続して状況を把握し、必要に応じて修繕を検討する。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,470	1,749	1,366	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,087	3,674	2,870	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(笠井小学校)</p>									

リストNo	07-019	施設コード	04972	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	かさいっこ放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区笠井町1050			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:00			
建物情報	総延床面積	84.28	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16		
経過年数(主要建物)	19	土地情報	うち所有面積 0.00	
			うち借地面積 0.00	
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



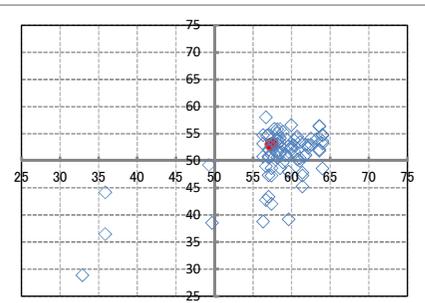
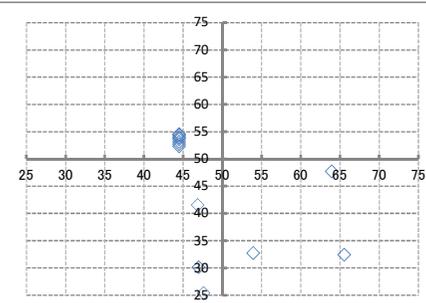
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	25
	維持補修費(修繕費)	6	9	0
	物件費(光熱水費)	246	214	200
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	273	254	225	
行政コスト(B-A)		273	254	225
収支前年比		107.48	112.89	99.12
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		611	611	611
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,760	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	0.0
07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	1.0
07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	1.5
07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.9
同分類			
15-027	笠井小学校	生活	0.0
08-025	笠井幼稚園	生活	0.0
14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.1
15-110	笠井中学校	生活	0.2
03-034	笠井協働センター	生活	0.3
08-010	笠井保育園	生活	0.6
15-033	豊西小学校	生活	0.9
08-027	豊西幼稚園	生活	1.0
その他の分類			



基本情報	リストNo	07-019	施設コード	04972	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	かさいこ第2放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(かさいこ第2放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—	—		
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,239	3,014	2,670	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	6,825	6,350	5,625	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p>				<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(笠井小学校)</p>									

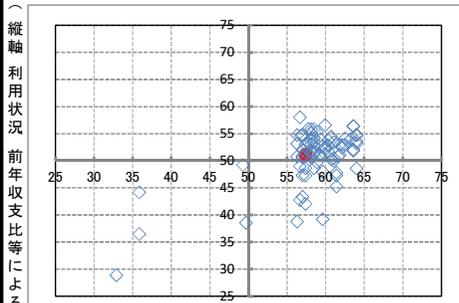
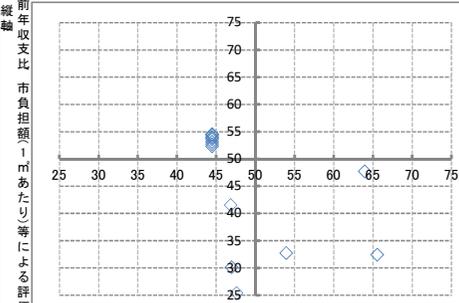
リストNo	07-020	施設コード	01854
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	すぎの子第2放課後児童会		
所在(町名・番地)	東区中野町427-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	84.28	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16	
	経過年数(主要建物)	19	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	25
	維持補修費(修繕費)	94	9	0
	物件費(光熱水費)	232	185	181
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	347	225	206	
行政コスト(B-A)		347	225	206
収支前年比		154.22	109.22	76.58
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		667	667	667
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	9,564	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設					
No	施設名	圏域種別	距離(km)		
07-071	たけの子放課後児童会	生活	1.1		
07-026	和田っ子放課後児童会	生活	1.2		
同分類					
その他の分類					
08-026	中ノ町幼稚園	生活	0.0		
15-031	中ノ町小学校	生活	0.0		
14-045	浜松第24分団	コミュニティ	0.3		
03-083	安新会館	コミュニティ	0.5		
08-012	中ノ町保育園	生活	0.7		
03-032	天竜協働センター	生活	0.7		
15-114	天竜中学校	生活	1.0		
15-038	和田東小学校	生活	1.1		
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	07-020	施設コード	01854	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	すぎの子第2放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(すぎの子第2放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
2021			—	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	4,117	2,670	2,444	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,675	5,625	5,150
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(中ノ町小学校)</p>								

施設カルテ 2023

リストNo	07-021	施設コード	01866	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	なかごおり第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区中郡町915			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:00			
建物情報	総延床面積	87.80	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2003/1/7		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



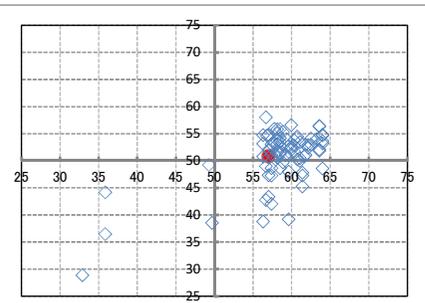
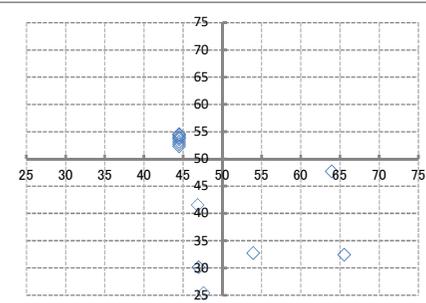
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	7	10	15
	維持補修費(修繕費)	43	9	78
	物件費(光熱水費)	77	44	200
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	127	63	293	
行政コスト(B-A)		127	63	293
収支前年比		201.59	21.50	138.21
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		233	233	233
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	49	49	49
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	5,099	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-025	ひまわり放課後児童会	生活	1.3
07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.5
07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	1.9
07-019	かさいっこ第2放課後児童会	生活	1.9
同分類			
その他の分類			
15-032	中郡小学校	生活	0.0
15-113	中郡中学校	生活	0.2
08-028	万斛幼稚園	生活	0.2
17-003	万斛庄屋公園	地域	0.3
10-003	ふれあい交流センター竜西	地域	0.5
08-032	橋爪幼稚園	生活	0.7
13-023	笠井新田団地	地域	1.1
03-035	積志協働センター	生活	1.1



基本情報	リストNo	07-021	施設コード	01866	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当		
	施設名	なかごおり第2放課後児童会				施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる						
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		放課後児童健全育成事業(なかごおり第2放課後児童会)	2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
			2020	—	—	—				
			2019	—	—	—				
事業②	—	—	—	—	—					
事業③	—	—	—	—	—					
事業④	—	—	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020		
	行政コスト/面積(円)	1,446	718	3,337	1人当たりのコスト(円)	—	—	—		
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—		
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,592	1,286	5,980		
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—		
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性									
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。										
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>								
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	—		
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(中郡小学校)										

リストNo	07-022	施設コード	04973				
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設						
施設名	とよにしっこ放課後児童会						
所在(町名・番地)	東区豊西町1551						
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎				
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆				
設置根拠(法)	児童福祉法						
条例	—						
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	13:00 ～ 18:00						
建物情報	総延床面積	187.88	土地面積	162.00			
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	162.00		
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)	学校用地
	耐震工事(主要建物)	—					
	建築年月日(主要建物)	2006/3/27					
	経過年数(主要建物)	17					
用途地域	市街化調整区域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—	—			
特記事項	—						



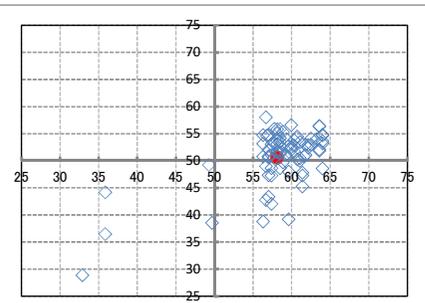
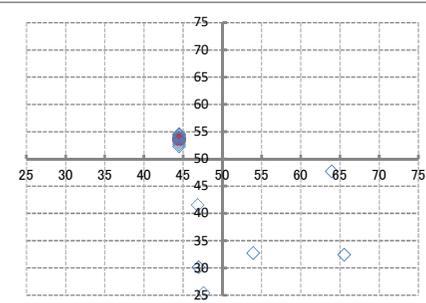
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	58
	維持補修費(修繕費)	75	150	246
	物件費(光熱水費)	147	166	160
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	243	347	464	
行政コスト(B-A)	243	347	464	
収支前年比	70.03	74.78	154.67	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,362	1,362	1,362	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	60	60	60
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,620	22,242	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

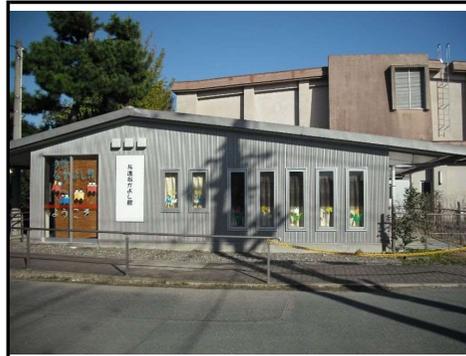
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-018	かさいっこ放課後児童会	生活	1.0
07-019	かさいっこ第2放課後児童会	生活	1.0
同分類			
その他の分類			
08-027	豊西幼稚園	生活	0.0
15-033	豊西小学校	生活	0.1
03-034	笠井協働センター	生活	0.8
03-084	恒武会館	コミュニティ	0.9
14-044	浜松第22分団	コミュニティ	0.9
08-025	笠井幼稚園	生活	1.0
15-027	笠井小学校	生活	1.0
08-010	笠井保育園	生活	1.2



基本情報	リストNo	07-022	施設コード	04973	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	とよにしっこ放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(とよにしっこ放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②	—	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,293	1,847	2,470	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,050	5,783	7,733	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(豊西小学校)									

リストNo	07-023	施設コード	02765	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	よしん第3放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区天王町1351-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	85.50	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2003/2/17		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	25
	維持補修費(修繕費)	8	97	80
	物件費(光熱水費)	277	234	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	306	362	105	
行政コスト(B-A)		306	362	105
収支前年比		84.53	344.76	50.72
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		526	526	526
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	7,014	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.0
07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.0
07-024	与進北放課後児童会	生活	0.7
07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.7
15-035	与進小学校	生活	0.0
08-030	与進幼稚園	生活	0.1
26-040	天王雨水ポンプ場	—	0.3
03-033	長上協働センター	生活	0.6
15-115	与進中学校	生活	0.7
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.7
15-036	与進北小学校	生活	0.7
26-039	市野雨水ポンプ場	—	0.8



基本情報	リストNo	07-023	施設コード	02765	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	よしん第3放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(よしん第3放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—		
2020	—	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,579	4,234	1,228	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,650	9,050	2,625	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進小学校)									

リストNo	07-024	施設コード	04974			
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設					
施設名	与進北放課後児童会					
所在(町名・番地)	東区市野町2715					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎			
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆			
設置根拠(法)	児童福祉法					
条例	—					
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	13:00～18:00					
建物情報	総延床面積	273.50	土地面積	377.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	377.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2006/3/27				
	経過年数(主要建物)	17				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



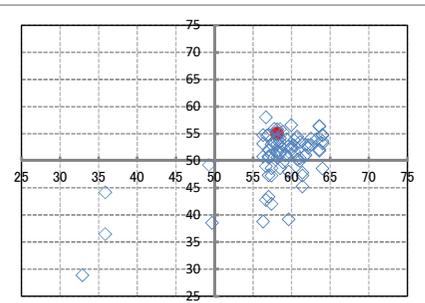
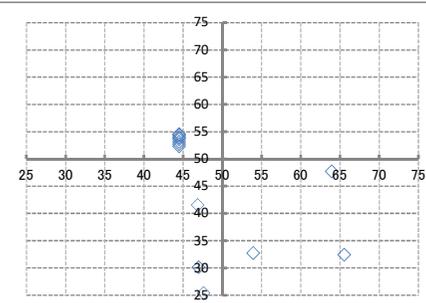
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	0	0	0
	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	63
	維持補修費(修繕費)	7	138	51
	物件費(光熱水費)	299	254	269
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	327	423	383
	行政コスト(B-A)	327	423	383
	収支前年比	77.30	110.44	77.37
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	1,653	1,653	1,653
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	9,319	26,995	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-028	よしん第1・第2放課後児童会	生活	0.7
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.7
07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.8
07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.3
07-080	ありたま・ありたま第2放課後児童会	生活	1.9
15-036	与進北小学校	生活	0.0
03-033	長上協働センター	生活	0.2
03-085	小池会館	コミュニティ	0.6
08-030	与進幼稚園	生活	0.7
15-035	与進小学校	生活	0.7
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.8
13-026	鷺の宮団地	地域	1.0
26-040	天王雨水ポンプ場	—	1.0



基本情報	リストNo	07-024	施設コード	04974	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	与進北放課後児童会			施設	東区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(与進北放課後児童会)	2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
			2020	—	—	—		
			2019	—	—	—		
事業②	—	2022	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,196	1,547	1,400	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,088	5,288	4,788	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>				<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進北小学校)									

リストNo	07-025	施設コード	04016	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	ひまわり放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区積志町1497-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	225.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2009/11/20		
	経過年数(主要建物)	13		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



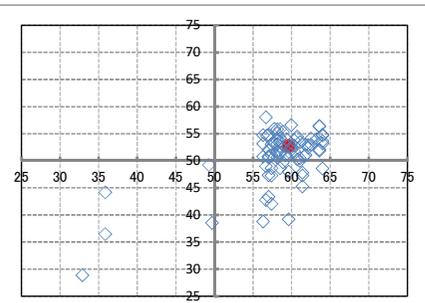
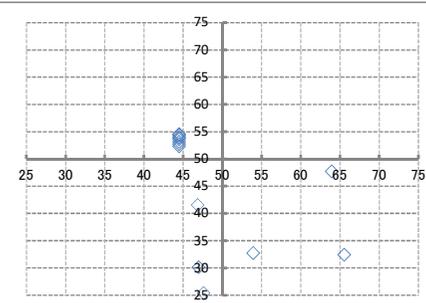
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	27
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	594	484	429
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	636	515	456	
行政コスト(B-A)		636	515	456
収支前年比		123.50	112.94	102.01
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,400	1,400	1,400
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	28,464	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-080	ありたま・ありたま第2放課後児童会	生活	1.3
07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	1.3
07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.6
同分類			
15-029	積志小学校	生活	0.0
08-011	積志保育園	生活	0.2
15-112	積志中学校	生活	0.3
06-006	積志図書館	地域	0.5
03-035	積志協働センター	生活	0.5
14-046	浜松第34分団	コミュニティ	0.7
08-032	橋爪幼稚園	生活	1.1
24-006	半田排水機場	—	1.1



基本情報	リストNo	07-025	施設コード	04016	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当		
	施設名	ひまわり放課後児童会				施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる						
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		放課後児童健全育成事業(ひまわり第1放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(ひまわり第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—	—		
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—		
事業④		—	2022	—	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—			
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)									
	課題	建具に歪みが生じやすく、施錠が出来ない不具合が間々発生する。								
	対応策	不具合が発生したら、その都度修繕を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	民活導入	複合化	—	—	—	—				
広域化		—	—	—	—					
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,827	2,289	2,027	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,950	6,438	5,700	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(積志小学校)</p>									

リストNo	07-026	施設コード	04299	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	和田っ子放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区薬師町273-2			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	211.84	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2010/11/30		
	経過年数(主要建物)	12		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



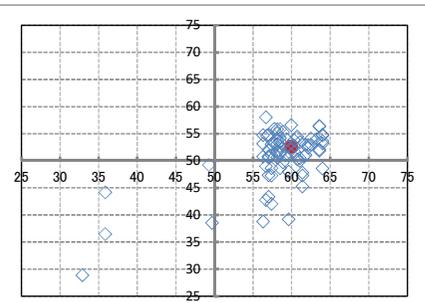
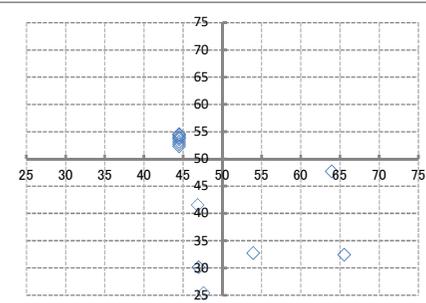
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	65	31	814
	物件費(光熱水費)	572	499	430
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	679	561	1,273	
行政コスト(B-A)		679	561	1,273
収支前年比		121.03	44.07	284.15
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,298	1,298	1,298
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	80	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	27,683	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	施設整備工事(建築工事)	35,883			
2010	施設整備工事	7,371				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-071	たけの子放課後児童会	生活	0.7
07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活	1.2
同分類			
その他の分類			
15-037	和田小学校	生活	0.0
08-031	和田幼稚園	生活	0.1
03-032	天竜協働センター	生活	0.5
15-114	天竜中学校	生活	0.6
14-009	東消防署	地域	0.6
14-042	浜松第20分団	コミュニティ	0.6
13-024	北島団地	地域	0.7
03-086	北島会館	コミュニティ	0.7



基本情報	リストNo	07-026	施設コード	04299	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	和田っ子放課後児童会			施設	東区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(和田っ子第1放課後児童会)	2022	—	—	—		
			2021	—	—	—		
			2020	—	—	—		
事業②		放課後児童健全育成事業(和田っ子第2放課後児童会)	2022	—	—	—		
	2021		—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)							
	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
広域化		—	—	—	—			
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,205	2,648	6,009	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,488	7,013	15,913	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋 地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(和田小学校)									

リストNo	07-027	施設コード	04963	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	ポプラの子放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区神立町5			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	265.25	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2015/2/27		
	経過年数(主要建物)	8		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



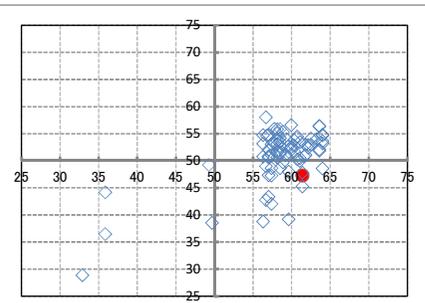
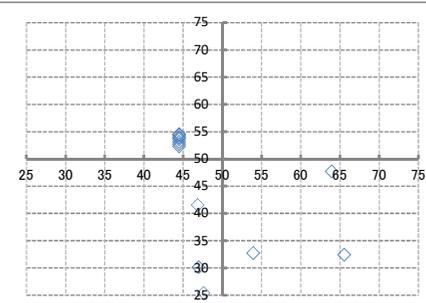
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	188	0	108
	物件費(光熱水費)	160	112	260
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	348	112	368
	行政コスト(B-A)	348	112	368
	収支前年比	310.71	30.43	141.54
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	1,387	1,387	1,387
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	51,955	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.9
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.9
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	1.4
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.8
07-039	いなほ放課後児童会	生活	1.9
その他の分類			
15-028	蒲小学校	生活	0.0
03-031	蒲協働センター	生活	0.6
06-007	東図書館	地域	0.6
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.6
05-003	浜松アリーナ	広域	0.8
15-003	佐藤小学校	生活	0.9
03-077	江東会館	コミュニティ	0.9
09-003	保健環境研究所	市域	0.9



基本情報	リストNo	07-027	施設コード	04963	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	ポブラの子放課後児童会			施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる				
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(ポブラの子第1放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
	事業②	放課後児童健全育成事業(ポブラの子第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業④	—	2022	—	—	—	—		
2021			—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,312	422	1,387	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	3,480	1,120	3,680	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。※専用教室(蒲小学校)									

リストNo	07-028	施設コード	04479	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	よしん第1・第2放課後児童会			
所在(町名・番地)	東区天王町1351-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	東区・社会福祉課	課長名 鈴木 誠隆	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	165.03	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2006/3/27		
	経過年数(主要建物)	17		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



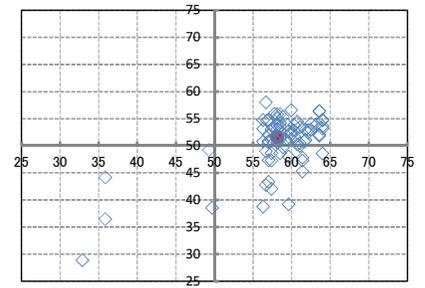
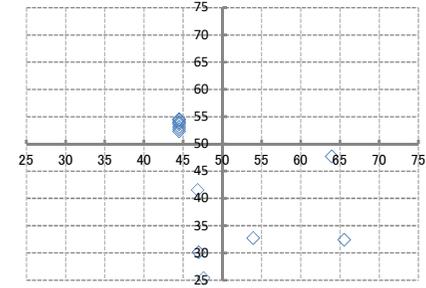
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	36
	維持補修費(修繕費)	135	59	282
	物件費(光熱水費)	555	468	642
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	732	558	960	
行政コスト(B-A)		732	558	960
収支前年比		131.18	58.13	106.55
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		898	898	898
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	78	78	78
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	14,670	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-023	よしん第3放課後児童会	生活	0.0
07-078	よしん第4・第5放課後児童会	生活	0.0
07-024	与進北放課後児童会	生活	0.7
07-069	おおせ放課後児童会	生活	1.7
15-035	与進小学校	生活	0.0
08-030	与進幼稚園	生活	0.1
26-040	天王雨水ポンプ場	—	0.3
03-033	長上協働センター	生活	0.6
15-115	与進中学校	生活	0.7
14-043	浜松第21分団	コミュニティ	0.7
15-036	与進北小学校	生活	0.7
26-039	市野雨水ポンプ場	—	0.8



基本情報	リストNo	07-028	施設コード	04479	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当		
	施設名	よしん第1・第2放課後児童会				施設	東区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する								
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
		主な利用者	昼間に保護者が対応できない小学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、需要は高まっている					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる					
	特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		放課後児童健全育成事業(よしん第1放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
事業②		放課後児童健全育成事業(よしん第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
			2020	—	—	—	—			
事業③		—	2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
事業④		—	2022	—	—	—	—			
	2021		—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—								
	対応策	—								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
	民活導入	複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。										

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	4,436	3,381	5,817	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	9,385	7,154	12,308	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(与進小学校)</p>									

リストNo	07-029	施設コード	04975
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	篠浜放課後児童会		
所在(町名・番地)	西区篠原町10300		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:00		
建物情報	総延床面積	85.82	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16	
	経過年数(主要建物)	19	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



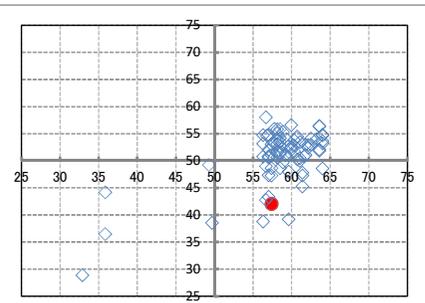
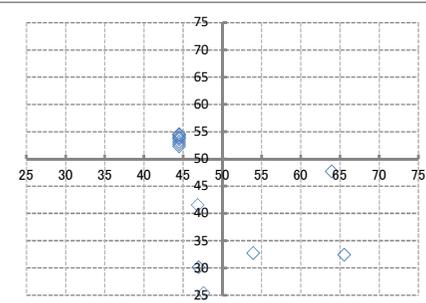
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	25
	維持補修費(修繕費)	565	33	73
	物件費(光熱水費)	168	146	132
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	754	210	230	
行政コスト(B-A)		754	210	230
収支前年比		359.05	91.30	148.39
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		560	560	560
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,029	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	15-042	篠原小学校	生活
15-120		篠原中学校	生活	0.3
03-042		篠原協働センター	生活	0.4
14-051		浜松第38分団	コミュニティ	0.4
24-012		篠原中排水機場	—	1.0
24-016		坪井排水機場	—	1.2
20-001		西部清掃工場	広域	1.4
01-014		西区役所	地域	1.4



基本情報	リストNo	07-029	施設コード	04975	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	篠浜放課後児童会			所管課	施設	西区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項							
		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(篠浜放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
	事業②	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業④	—	2022	—	—	—	—		
2021			—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	8,786	2,447	2,680	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	18,850	5,250	5,750	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(篠原小学校)									

リストNo	07-030	施設コード	04976
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	松かけ第2放課後児童会		
所在(町名・番地)	西区神ヶ谷町3490		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:00		
建物情報	総延床面積	85.82	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2004/2/16	
	経過年数(主要建物)	19	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



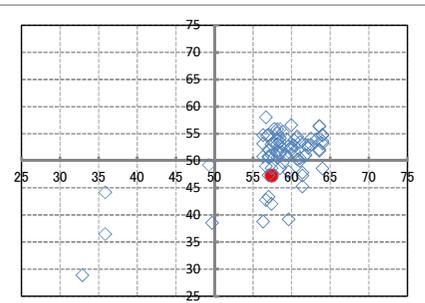
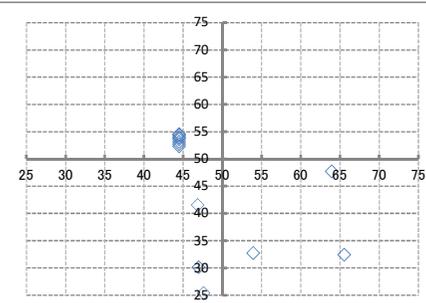
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	113	119	71
	維持補修費(修繕費)	351	19	0
	物件費(光熱水費)	193	165	159
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	657	303	230	
行政コスト(B-A)		657	303	230
収支前年比		216.83	131.74	103.60
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		606	606	606
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	40	40	40
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,688	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活	1.7
15-043	神久呂小学校	生活	0.0
08-034	神久呂幼稚園	生活	0.2
15-117	神久呂中学校	生活	0.4
20-005	西部衛生工場神原ポンプ場	地域	0.4
03-037	神久呂協働センター	生活	0.7
14-047	浜松第32分団	コミュニティ	0.8
03-091	神ヶ谷会館	コミュニティ	1.0
03-092	神原会館	コミュニティ	1.0



基本情報	リストNo	07-030	施設コード	04976	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	松かげ第2放課後児童会			施設	西区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項							
		平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	放課後児童健全育成事業(松かげ第2放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
	事業②	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業③	—	2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業④	—	2022	—	—	—	—		
2021			—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	7,656	3,531	2,680	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	16,425	7,575	5,750	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(神久呂小学校)</p>									

リストNo	07-031	施設コード	01596
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	西都台放課後児童会		
所在(町名・番地)	西区西鴨江町1106		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	495.00	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2002/3/1	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	28	66	84
	維持補修費(修繕費)	0	22	270
	物件費(光熱水費)	188	125	370
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	216	213	724	
行政コスト(B-A)		216	213	724
収支前年比		101.41	29.42	85.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,175	2,175	2,175
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	90	90	90
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	27,840	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活	1.9
15-039	西都台小学校	生活	0.0
24-008	境川排水機場	—	0.5
24-018	薬師谷排水機場	—	0.7
24-015	西部排水機場	—	0.8
15-121	入野中学校	生活	1.2
03-038	入野協働センター	生活	1.3
14-048	浜松第33分団	コミュニティ	1.4
05-011	佐鳴湖公園	地域	1.6



基本情報	リストNo	07-031	施設コード	01596	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	西都台放課後児童会			施設	西区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
複合施設								
関連政策名								
子どもが健やかに育つ環境づくり								
設置の妥当性	設置目的(再掲)							
	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
	主な業務内容							
	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する							
	主な利用者							
就労等により昼間に保護者が対応できない小学生								
施設運営分析	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる							
特記事項								
平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大								
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	放課後児童健全育成事業(西都台放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—	—
			2019	—	—	—	—	—
	事業②	放課後児童健全育成事業(西都台第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—	—
			2020	—	—	—	—	—
	事業③	—	2022	—	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—	—
事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	大雨・台風時の風向きにより、建物の窓枠から雨漏りする場所がある。						
	対応策	継続して状況を把握し、必要な修繕を検討していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	436	430	1,463	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	2,400	2,367	8,044
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)							
供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)								
参考	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性							
	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性							
	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(西都台小学校)								

リストNo	07-032	施設コード	01785			
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設					
施設名	どんぐり第2放課後児童会					
所在(町名・番地)	西区大平台三丁目6-2					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎			
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一			
設置根拠(法)	児童福祉法					
条例	—					
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	253.17	土地面積	425.82		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	425.82	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2005/4/6				
	経過年数(主要建物)	18				
用途地域	第一種中高層住居専用地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



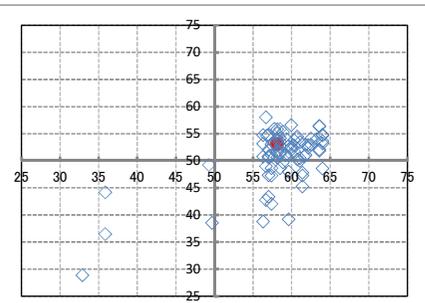
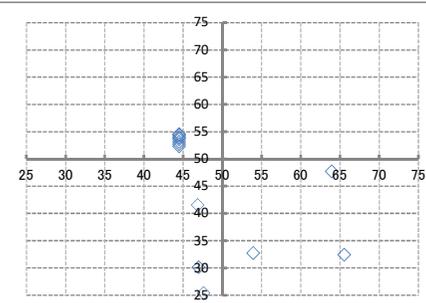
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	33
	維持補修費(修繕費)	45	42	0
	物件費(光熱水費)	466	378	351
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	553	451	384	
行政コスト(B-A)		553	451	384
収支前年比		122.62	117.45	102.40
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,571	1,571	1,571
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	37,354	25,663	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-030	松かけ第2放課後児童会	生活	1.7
07-009	さなる放課後児童会	生活	1.8
07-033	めだか放課後児童会	生活	1.9
07-031	西都台放課後児童会	生活	1.9
同分類			
15-044	大平台小学校	生活	0.1
13-028	佐鳴湖西団地	地域	0.2
14-015	西消防署大平台出張所	地域	0.2
12-008	浜松市環境共生住宅実験施設	市域	0.6
03-091	神ヶ谷会館	コミュニティ	0.7
24-018	薬師谷排水機場	—	1.2
14-047	浜松第32分団	コミュニティ	1.3
26-007	御前谷ポンプ場	—	1.4
その他の分類			



基本情報	リストNo	07-032	施設コード	01785	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	どんぐり第2放課後児童会			所管課	施設	西区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後もニーズは高い状況にあると見込まれる						
		特記事項	平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(どんぐり放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
事業②	放課後児童健全育成事業(どんぐり第2放課後児童会)	2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
事業③	—	2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,184	1,781	1,517	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	5,530	4,510	3,840	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
		品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(大平台小学校)								

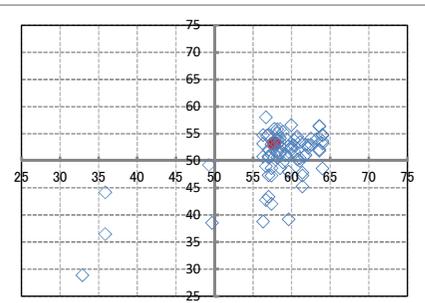
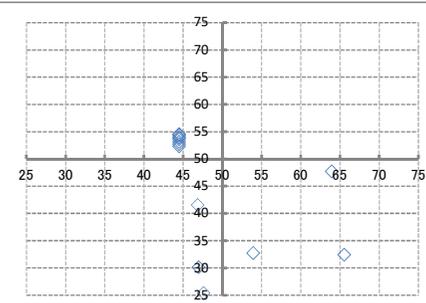
リストNo	07-033	施設コード	04977		
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設				
施設名	めだか放課後児童会				
所在(町名・番地)	西区入野町6470-1				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎		
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一		
設置根拠(法)	児童福祉法				
条例	—				
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する				
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	13:00 ～ 18:30				
建物情報	総延床面積	199.50	土地面積	188.03	
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	188.03
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2004/9/1			
	経過年数(主要建物)	18			
		代表地目(現況地目)	学校用地		
用途地域	第二種住居地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	25
	維持補修費(修繕費)	31	128	0
	物件費(光熱水費)	520	372	339
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	572	531	364
	行政コスト(B-A)	572	531	364
	収支前年比	107.72	145.88	109.64
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	1,026	1,026	1,026
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	70	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	7,213	15,727	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	1.3		
	07-009	さなる放課後児童会	生活	1.3		
	07-032	どんぐり第2放課後児童会	生活	1.9		
その他の分類	15-045	入野小学校	生活	0.1		
	05-011	佐鳴湖公園	地域	0.5		
	14-048	浜松第33分団	コミュニティ	0.7		
	03-038	入野協働センター	生活	0.7		
	03-049	可美協働センター	生活	0.7		
	15-121	入野中学校	生活	0.9		
	23-094	高塚駅南北自由通路	地域	1.0		
03-026	佐鳴台協働センター	生活	1.0			
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	07-033	施設コード	04977	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	めだか放課後児童会			所管課	施設	西区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(めだか放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—	—		
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,867	2,662	1,825	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,171	7,586	5,200	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。</p> <p>放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。</p> <p>そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(入野小学校近接)</p>									

施設カルテ 2023

リストNo	07-034	施設コード	02750	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	雄踏なかよし第1放課後児童会			
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見7997-2			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00～18:00			
建物情報	総延床面積	145.40	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2007/3/9		
	経過年数(主要建物)	16		
用途地域	第二種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	27
	維持補修費(修繕費)	77	19	139
	物件費(光熱水費)	350	323	264
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	448	373	430	
行政コスト(B-A)		448	373	430
収支前年比		120.11	86.74	153.57
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		278	278	278
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	54	54	54
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,202	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	15-047	雄踏小学校	生活
03-011		雄踏文化センター	地域	0.1
06-009		雄踏図書館	地域	0.3
08-017		雄踏保育園	生活	0.4
14-057		浜松第46分団	コミュニティ	0.4
04-036		重要文化財中村家住宅	文化財	0.5
08-038		雄踏幼稚園	生活	0.6
21-002		雄踏斎場	地域	0.6



基本情報	リストNo	07-034	施設コード	02750	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	雄踏なかよし第1放課後児童会			施設	西区・社会福祉課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(雄踏なかよし第1放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	—	—	—	—	—	—		
事業③	—	—	—	—	—	—	—		
事業④	—	—	—	—	—	—	—		
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,081	2,565	2,957	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,296	6,907	7,963
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(雄踏小学校)</p>								

リストNo	07-035	施設コード	04978
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	わじ第1放課後児童会		
所在(町名・番地)	西区湖東町2005		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	336.80	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2006/4/6	
	経過年数(主要建物)	17	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



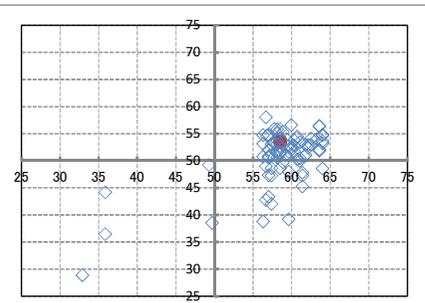
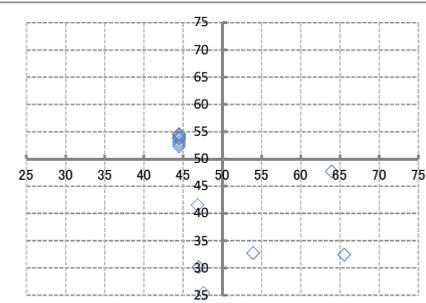
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	20	31	46
	維持補修費(修繕費)	222	252	0
	物件費(光熱水費)	532	446	393
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	774	729	439	
行政コスト(B-A)		774	729	439
収支前年比		106.17	166.06	108.93
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,694	1,694	1,694
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	90	90	90
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	29,362	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-012	北星児童館	生活	2.0
03-040	和地協働センター	生活	0.1
15-048	和地小学校	生活	0.1
26-035	和地中継ポンプ場	—	0.3
13-039	湖東団地	地域	0.4
26-011	湖東浄化センター	—	0.6
03-089	湖東西会館	コミュニティ	0.6
08-040	和地幼稚園	生活	1.2
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	1.2



基本情報	リストNo	07-035	施設コード	04978	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	わじ第1放課後児童会			所管課	施設	西区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(わじ第1放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	2,298	2,164	1,303	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,600	8,100	4,878	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(和地小学校)									

リストNo	07-036	施設コード	04040			
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設					
施設名	伊佐見放課後児童会					
所在(町名・番地)	西区伊左地町54-3					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎			
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一			
設置根拠(法)	児童福祉法					
条例	—					
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	13:00 ～ 18:30					
建物情報	総延床面積	194.21	土地面積	273.15		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	273.15	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2009/3/6				
	経過年数(主要建物)	14				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



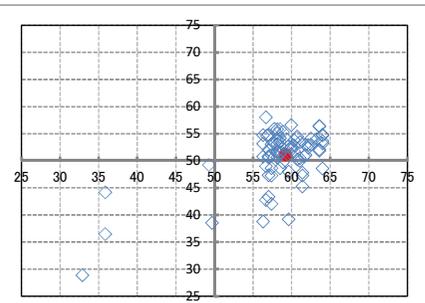
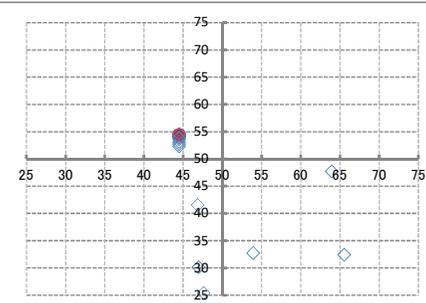
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	141	726	64
	物件費(光熱水費)	490	286	372
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	673	1,043	465	
行政コスト(B-A)		673	1,043	465
収支前年比		64.53	224.30	120.16
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,019	1,019	1,019
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	100	80
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	8,163	19,700	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2008	施設整備工事(建築工事)	33,915			
2008	施設整備工事(機械設備工事)	10,290			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
03-039	伊佐見協働センター	生活	0.0	
08-033	伊佐見幼稚園	生活	0.1	
14-049	浜松第36分団	コミュニティ	0.1	
15-041	伊佐見小学校	生活	0.1	
06-010	はまゆう図書館	地域	0.7	
24-010	佐浜第1排水機場	—	0.8	
03-090	佐浜会館	コミュニティ	1.0	
24-011	佐浜第2排水機場	—	1.1	



基本情報	リストNo	07-036	施設コード	04040	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	伊佐見放課後児童会			所管課	施設	西区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(伊佐見第1放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
事業②	放課後児童健全育成事業(伊佐見第2放課後児童会)	2021	—	—	—	—			
		2020	—	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
	施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,465	5,370	2,394	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	8,413	10,430	5,813	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>							
		個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(伊佐見協働センター隣接)									

リストNo	07-037	施設コード	04472			
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設					
施設名	舞阪なかよし放課後児童会					
所在(町名・番地)	西区舞阪町舞阪76					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎			
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一			
設置根拠(法)	児童福祉法					
条例	—					
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する					
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	13:00～18:00					
建物情報	総延床面積	248.68	土地面積	564.24		
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		うち所有面積	564.24	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2012/12/7				
	経過年数(主要建物)	10				
用途地域	第二種住居地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	42	31	29
	維持補修費(修繕費)	0	136	275
	物件費(光熱水費)	361	297	288
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	403	464	592	
行政コスト(B-A)		403	464	592
収支前年比		86.85	78.38	183.28
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,256	1,256	1,256
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	100	100	100
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	25,107	20,499	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2012	施設整備工事(建築工事)	32,221			
2012	施設整備工事(機械設備工事)	9,494				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-046	舞阪小学校	生活	0.0
18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	0.2
04-037	舞坂宿脇本陣	文化財	0.3
14-054	浜松第43分団車庫	コミュニティ	0.3
01-015	舞阪協働センター	地域	0.4
08-016	舞阪第2保育園	生活	0.4
12-007	水産物荷捌所	小規模等	0.4
13-032	第2吹上団地	地域	0.5



基本情報	リストNo	07-037	施設コード	04472	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当
	施設名	舞阪なかよし放課後児童会			施設	西区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する						
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する					
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後もニーズは高い状況にあると見込まれる				
	特記事項			平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		放課後児童健全育成事業(舞阪なかよし放課後児童会)	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業②		放課後児童健全育成事業(舞阪なかよし第2放課後児童会)	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—						
	対応策	—						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	民活導入	複合化	—	—	—	—		
		広域化	—	—	—	—		
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,621	1,866	2,381	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	4,030	4,640	5,920	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。			
		1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(舞阪小学校)									

リストNo	07-038	施設コード	04979
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設		
施設名	庄内学園放課後児童会		
所在(町名・番地)	西区庄内町2-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎
	施設	西区・社会福祉課	課長名 夏目 健一
設置根拠(法)	児童福祉法		
条例	—		
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する		
主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	13:00 ～ 18:30		
建物情報	総延床面積	235.31	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2014/3/10	
	経過年数(主要建物)	9	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



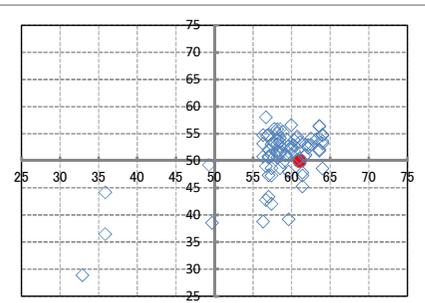
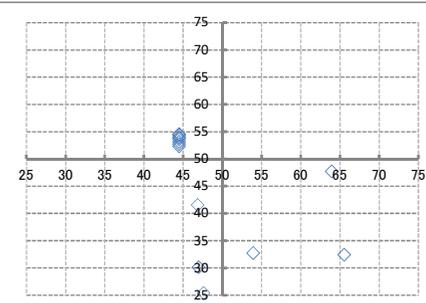
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	21	31	34
	維持補修費(修繕費)	464	0	57
	物件費(光熱水費)	484	485	428
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	969	516	519
行政コスト(B-A)		969	516	519
収支前年比		187.79	99.42	118.22
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,559	1,559	1,559
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	80	70	70
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	37,938	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2013	放課後児童会整備工事(建築工事)	50,835			
2013	放課後児童会整備工事(機械設備工事)	9,130			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-014	西消防署庄内出張所	地域	0.1
15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)	生活	0.1
03-041	庄内協働センター	生活	0.2
26-012	館山寺浄化センター	—	0.3
04-019	館山寺ターミナル事務所	地域	0.9
04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	1.2
18-064	旧北庄内小学校	地域	1.6
14-052	浜松第39分団	コミュニティ	1.6



基本情報	リストNo	07-038	施設コード	04979	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	庄内学園放課後児童会			所管課	施設	西区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間保護者がいない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている				保護者の就業形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後もニーズは高い状況にあると見込まれる			
		特記事項				平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(庄内学園放課後児童会)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—	—		
施設所管課・本庁所管課記入欄	施設に関する課題等(ハード面から)								
	課題	—							
	対応策	—							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
広域化		—	—	—	—				
放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	4,118	2,193	2,206	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	12,113	7,371	7,414
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(庄内学園)</p>								

リストNo	07-039	施設コード	00034	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	いなほ放課後児童会			
所在(町名・番地)	南区飯田町978			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育総務課 学校・地域連携担当	課長名 鈴木 健一郎	
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人	
設置根拠(法)	児童福祉法			
条例	—			
設置目的	児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により屋間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する			
主な利用者	就労等により屋間に保護者が対応できない小学生			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	13:00 ～ 18:30			
建物情報	総延床面積	136.50	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2007/4/1		
	経過年数(主要建物)	16		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



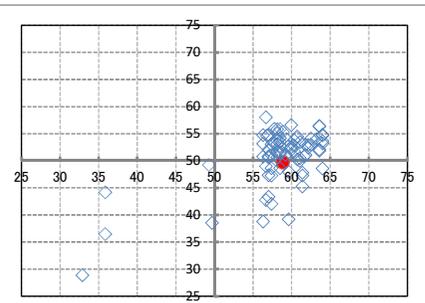
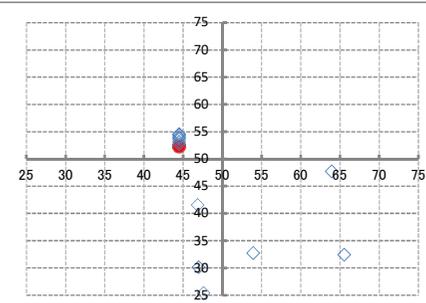
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	57	31	92
	維持補修費(修繕費)	0	0	90
	物件費(光熱水費)	395	321	283
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	452	352	465
行政コスト(B-A)	452	352	465	
収支前年比	128.41	75.70	97.08	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,604	1,604	1,604	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	60	60	60
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	18,151	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2006	整備工事(建築工事)	34,946			
2006	児童会室整備工事(機械設備工事)	7,718			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-046	芳北小放課後児童会	生活	1.5
07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	1.6
07-076	さなえ放課後児童会	生活	1.6
07-027	ポプラの子放課後児童会	生活	1.9
07-011	若竹第2放課後児童会	生活	1.9
15-054	飯田小学校	生活	0.0
08-043	飯田幼稚園	生活	0.3
03-044	東部協働センター体育館	生活	0.3
15-127	東部中学校	生活	0.4
13-047	飯田団地	地域	0.4
14-016	浜松第27分団	地域	0.5
12-004	中央卸売市場	広域	1.0
17-006	緑化推進センター	地域	1.1



基本情報	リストNo	07-039	施設コード	00034	所管課	本庁	学校教育部教育総務課	学校・地域連携担当	
	施設名	いなほ放課後児童会			所管課	施設	南区・社会福祉課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		児童福祉法の規定に基づく事業であり、就労等により昼間に保護者が対応できない小学生を対象とした放課後児童会の運営に活用する							
		主な業務内容	放課後や長期休業時等に、放課後児童に適切な遊びや生活の場を提供する						
		主な利用者	就労等により昼間に保護者が対応できない小学生						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				保護者の就労形態の変化(共働き等)により、ニーズは高まっている			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				今後も需要は高い状況にあると見込まれる			
		特記事項 平成27年4月より、対象を小学3年までから小学生へ拡大							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		放課後児童健全育成事業(いなほ放課後児童会)	2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—		
			2019	—	—	—	—		
事業②	—	2022	—	—	—	—			
事業③	—	2022	—	—	—	—			
事業④	—	2022	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	外部フェンス門扉開閉が難しい。							
	対応策	今後状況を把握し、必要な修繕を検討する。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	放課後児童会の運営は、地域の運営団体に対する運営費負担や各種法人への委託によって行われている。								

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,311	2,579	3,407	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	7,533	5,867	7,750
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松こども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。 放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。 そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には学校の空き教室を活用するなど効率的な施設運営を検討する。※専用施設(飯田小学校)</p>								

リストNo	07-040	施設コード	04980	
利用用途別分類(施設分類)	児童福祉施設			
施設名	遠州浜子育て支援ひろば			
所在(町名・番地)	南区遠州浜二丁目9-10			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	こども家庭部子育て支援課	課長名 小山 東男	
	施設	南区・社会福祉課	課長名 鈴木 孝人	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	遊び場の提供、育児相談、子育て情報の提供、親子の交流を目的とする。			
主な利用者	0歳児から3歳児の乳幼児と付き添いの保護者、小学校6年生までの児童			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ~ 17:00			
建物情報	総延床面積	85.50	土地面積 363.98	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2003/2/17		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	37	23	49
	維持補修費(修繕費)	1,473	132	44
	物件費(光熱水費)	165	196	164
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,675	351	257	
行政コスト(B-A)		1,675	351	257
収支前年比		477.21	136.58	72.19
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		539	539	539
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,739	3,752	2,365
	開館日数/年	303	356	295
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	7,192	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-044	南の星放課後児童会	生活	0.6
15-057	南の星小学校	生活	0.6
08-045	南の星幼稚園	生活	0.6
13-044	遠州浜団地	地域	0.7
13-042	遠州浜団地福祉住宅	地域	0.7
03-046	五島協働センター	生活	0.7
14-059	浜松第17分団	コミュニティ	1.2
20-008	南部清掃工場	地域	1.3
05-015	江之島アーチェリー場	地域	1.3



基本情報	リストNo	07-040	施設コード	04980	所管課	本庁	子ども家庭部子育て支援課
	施設名	遠州浜子育て支援ひろば			施設	南区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもが健やかに育つ環境づくり、子どもとその家庭に対する相談援助					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		遊び場の提供、育児相談、子育て情報の提供、親子の交流を目的とする。					
		主な業務内容	施設の遊具をつかって遊ぶ自由来館施設				
		主な利用者	0歳児から3歳児の乳幼児と付き添いの保護者、小学校6年生までの児童				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者がある				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子化に伴う対象者数の減少				
		特記事項	シルバー人材センターへの委託				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		子育て支援ひろば事業・303回	2022	—	—	4,739	
			2021	—	—	3,752	
			2020	—	—	2,365	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
			2020	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の経年劣化とその対応。					
	対応策	日常点検等を通じ劣化度の把握に努め、必要な修繕をしていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	19,591	4,105	3,006	1人当たりのコスト(円)	353	94	109
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	5,528	986	871
	1日当たり利用者(人)	16	11	8	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>浜松子ども館は、既に民間施設との複合化が図られている点を踏まえ、今後のあり方や民間活力の更なる活用などを、住民サービス拡充の視点から引き続き検討します。放課後児童会は、施設整備やなかよし館の転用などにより、増加する需要に対応してきました。現在も、全市的に児童数は減少傾向にあるものの、女性の就業率の上昇や共働き世帯の増加などの要因により放課後児童会の需要の増加傾向が続いています。そのため、需要等に応じた整備を進めるほか、既存施設の活用(学校の余裕教室の活用や教室の一時利用)、近隣の市公共施設や民間サービスの活用を図るなどの工夫により、恒久的な延床面積の増加を抑制します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設を活用するなど効率的な施設運営を検討する。								